

授業科目名	研究会	必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	主要な憲法判例の研究	担当者	小林 伸一			
講義概要	<p>【概要】 基本的人権法及び統治機構法に関する重要判例を分析、検討する。</p> <p>【到達目標】 主要な憲法判例の意義、内容、問題点を把握する</p>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】 大沢秀介編著『判例ライン 憲法』（成文堂 2007年）</p> <p>【参考書】 芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法 第4版』（成文堂 2007年） 2011年度の六法</p>					
授業内容	<p>標記の教科書に掲載された判例を班(2名)ごとに割り振る。各班は、担当する判例について、最高裁公式判例集等の文献やインターネット上の関連サイトを詳しく調査し、分析する。それを基に報告し、質疑応答を行う。これにより、当該判例の判例法上の意義及び学説における評価について、受講者全員の理解が深まる。</p> <p>なお、生後認知子の国籍取得差別に関する最高裁大法廷判決（2008年6月）や空知太神社事件に関する最高裁大法廷判決(2010年1月)のような標記教科書未掲載の最新裁判例についても、適宜取り上げていくつもりである。</p>					
評価方法	毎回出席をとり、上記の報告の素点にこれを加味し最終評価を下す。					
評価基準	<p>基本的人権に関する主要判例の分析を中心とする本演習の内容につき、これを十分に修得し、そのことが報告に顕著に反映されていると判断できる受講生は、「A」とする。演習内容についての理解が必ずしも十分とはいえず、しかも報告上の表現が的確とはいえない受講生は、その程度に応じて「B」または「C」とする。演習内容に対する理解が明らかに不十分で、しかもそのことが報告内容・表現方法に如実に表れている受講生は、その程度に応じて「D」または「E」とする。</p>					
その他	特になし					